



令和5年度

あさぎり町教育委員会
点検・評価報告書

令和6年8月

あさぎり町教育委員会

目 次

1	はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P 1
	(1) 趣旨	
	(2) 点検・評価の対象	
	(3) 点検・評価の流れ	
2	教育委員会の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P 2
	(1) 教育委員会委員の職務	
	(2) 教育委員会の構成	
3	教育委員会の活動状況・・・・・・・・・・・・・・・・	P 3～4
	(1) 教育委員会会議の開催及び審議状況	
	(2) 総合教育会議の開催及び審議状況	
	(3) その他行事の活動状況	
4	点検・評価表・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P 5～12
	① せきれい館自主事業	
	② 図書館事業	
	③ 月足さおり出前コンサート事業	
	④ 町所有文化財管理事業（狩所ベニタブ）	
	⑤ あさぎり中学校長寿命化改修事業	
	⑥ 子どもの移動経路交通安全プログラム事業	
	⑦ 外国青年招致事業（A L T）	
	⑧ 町所有文化財管理事業（丸池リュウキンカ）	
5	参考資料	
	あさぎり町教育振興基本計画 基本理念と基本目標・・・・・・・・	P 13～15

1 はじめに

(1) 趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することとなっています。

あさぎり町教育委員会では、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民の皆様への説明責任を果たすため、「あさぎり町教育委員会点検・評価」として報告書にまとめました。

【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

(2) 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、教育委員会の活動状況等の点検のほかに、令和5年度あさぎり町教育委員会所管の主要な事務・事業です。

(3) 点検・評価の流れ

(1) 点検・評価表

点検・評価表については、令和5年にあさぎり町教育委員会が策定した第3期あさぎり町教育振興基本計画中の「5 具体的施策」をもとに、令和5年度の主な事業を評価項目として作成しました。

(2) 評価委員の委嘱

点検・評価の客観性を確保するため、有識者3名をあさぎり町教育委員会評価委員として委嘱し、教育委員会所管事務・事業を説明する機会を設け、外部評価及びご意見、ご助言をいただきました。

氏名 鶴田 正國 役職等 あさぎり町学校運営協議会委員

氏名 矢野 幸代 役職等 前あさぎり町教育委員

氏名 福島 伸也 役職等 あさぎり町PTA連絡協議会長

(3) 点検・評価の方法

点検・評価は、事業の実施状況と実績に対する評価委員による外部意見を踏まえ、「十分達成、概ね達成、やや不十分、不十分」の4段階で自己評価を行い、今後の方針を示しました。

2 教育委員会の概要

(1) 教育委員会委員の職務

教育委員会委員は、教育委員会会議に出席し教育行政の基本方針等を審議するほか、町内小中学への学校訪問や各種教育関係行事への出席、委員研修会等を行っています。

(2) 教育委員会の構成

あさぎり町教育委員会は、次の5人で構成され、教育長の任期は3年、委員は4年となっています。

教育長と委員は、議会の同意を得て町長が任命することとなっており、教育長は、教育委員会の会務を総理し委員会を代表します。

また、教育長は教育委員会の決定した基本的方針を受け、事務局を指揮監督して具体の事務を執行します。

【教育委員会委員名簿】

(令和6年6月1日現在)

職名	氏名
教育長	米良 隆夫
委員（職務代理者）	伊勢 啓史朗
委員	中村 麻有
委員	椎葉 直美
委員	恒松 倉基

3 教育委員会の活動状況

(1) 教育委員会会議の開催及び審議状況

あさぎり町教育委員会の会議は、毎月1回の「定例会」と、必要に応じて開催する「臨時会」があり、令和5年度は合計13回の会議を開催し、審議等を行いました。

① 会議の開催状況

会議	開催数
定例会	12回
臨時会	1回

② 審議状況

(ア) 付議案件数

議案	27件
協議	22件

(イ) 会議に付された主な案件

- ・各種委員の任命について
- ・一般会計予算について
- ・規則・要項の制定及び改正について
- ・就学援助児童生徒の認定について

(2) 総合教育会議の開催及び審議状況

町長と教育委員会が、十分な意思疎通を図り、地域の教育課題やあるべき姿を共有して、より一層民意を反映した教育行政を推進するため、町長と教育委員会が協議を行いました。

① 会議の開催状況（令和4年度実績）

会議	開催数	開催月
総合教育会議	1回	12月

② 審議状況

(ア) 協議件数

協議事項	教育委員出席状況
4件	4名

(イ) 会議に付された案件

- ・学校規模適正化について
- ・中学校部活動地域移行について

(3) その他行事の活動状況

	期日	内容	場所
学校教育	令和5年 4月 3日	教職員等辞令交付式	せきれい館
	令和5年 4月11日	小・中学校入学式	町内小・中学校
	令和5年 7月12日	学校訪問（総合）	上小学校
	令和5年 8月24日	諸表簿点検	免田小・須恵小学校
	令和5年 8月29日 ～令和6年 3月22日	学校規模等適正化審議会 （全4回）	生涯学習センター
	令和5年 8月30日	学校訪問（総合）	岡原小学校
	令和5年10月19日	学校訪問（経営）	深田小学校
	令和5年11月 1日	学校訪問（経営）	あさぎり中学校
	令和6年 3月10日	中学校卒業式	あさぎり中学校
	令和6年 3月21日	小学校卒業式	町内小学校
社会教育	令和5年 4月24日 ～令和6年 1月16日	文化財保護審議会（全4回）	生涯学習センター
	令和5年 6月28日 ～令和6年 3月18日	公民分館長会議（全2回）	生涯学習センター
	令和5年 7月27日	人吉球磨人権教育研究協議会 研究大会	生涯学習センター等
	令和5年 8月11日	せきれい館図書館まつり	せきれい館
	令和5年 9月29日 ～令和6年 1月31日	月足さおり出前コンサート （全6回）	町内小・中学校
	令和6年 1月 4日	二十歳の成人式	須恵文化ホール
社会体育	令和5年 5月 7日	スポーツフェスティバル	町内体育施設
	令和5年 5月17日 ～10月 1日	B&G海洋センター開館事業	B&G海洋センター
	令和5年 6月 4日 ～10月28日	第73回球磨郡民体育祭	人吉市・球磨郡内
	令和5年 8月22日 ～令和6年 3月13日	中学校部活動地域移行検討 協議会（全4回）	生涯学習センター
	令和5年10月 1日	第2回奥球磨駅伝競走大会	多良木町、湯前町 水上村、あさぎり町
	令和5年11月19日	第2回健幸駅伝大会	免田総合グラウンド
	令和5年12月17日	第71回球磨一周市町村対抗 熊日駅伝大会	人吉市・球磨郡内

点検・評価報告書

基本目標	(2) 生涯学習・生涯スポーツ
施策	ア 生涯学習の推進
事業名	せきれい館自主事業
事業目的・概要	せきれい館（深田校区公民館）における文化芸術の振興を目的とした自主文化事業であり、コロナ禍においては実施していなかったため、「図書館まつり」に併せ、令和元年以来4年ぶりの開催となった。
事業結果	令和5年8月11日（金）開催。バルーンパフォーマーRYUによる参加型バルーンショーを行った。参加者183名。
点検評価のポイント	施設の活用及び文化芸術等に触れる機会の提供
評価委員意見	・読書離れが増加しているようですので、本への興味、関心が持てる機会をこれからも作って欲しい。 ・子供達が本に興味を持ってくれるよう、継続していただきたい。
評価	十分達成 概ね達成 やや不十分 不十分
評価コメント	図書館まつりと自主文化事業（バルーンパフォーマンス）を同時開催した。町内読み聞かせ団体の協力を得て、本に親しむきっかけの提供しながら、バルーンを使った創作体験活動を提供したことで、より濃密な文化芸術活動を発信したと考える。
今後の方針	継続 中止 再検討 その他 住民に広範的な文化的交流の場を提供するとともに、ALTや青年団など若い人たちにも運営協力を促していくことで、長期的な視点で地域コミュニティの活性化につながる文化・芸術活動の充実に努める。

点検・評価報告書

基本目標	(2) 生涯学習・生涯スポーツ
施策	ア 生涯学習の推進
事業名	図書館事業
事業目的・概要	あさぎり町には「生涯学習センター図書館」「せきれい館図書館」があり、生涯学習センターを一般図書、せきれい館を児童図書と区分けを行って運営している。
事業結果	生涯学習センター：蔵書数11,682冊、利用者数3,823名 せきれい館：蔵書数8,210冊、利用者数1,632名 毎月の広報誌で新刊、特集コーナーを紹介。また、「図書館まつり」を開催し、読み聞かせや本のリサイクルを行うことで利用者の増加を図っている。
点検評価のポイント	町民の図書館利用促進及び学習活動の支援
評価委員意見	・せきれい館の絵本コーナーは充実していると思う。好みがあるのも分かるが、幅広い利用に繋がるよう充実した品揃えを期待したい。
評価	十分達成 ☒ 概ね達成 ☐ やや不十分 ☐ 不十分 ☐
評価コメント	多様化する利用者のニーズに応えながら、幅広く書籍や資料等を提供し、図書館の利用と設備環境の向上に向けて取り組んだ。
今後の方針	☒ 継続 ☐ 中止 ☐ 再検討 ☐ その他
	図書館は、生涯学習を進める上で最も基本的、かつ重要な施設である。地域社会の情報及び学習拠点として、図書・資料の整備やサービスの向上に取り組み、図書館利用の促進、読書の推進を図る。

点検・評価報告書

基本目標	(4) 人権尊重の推進
施策	ア 人権教育・啓発の推進
事業名	月足さおり出前コンサート
事業目的・概要	人権教育の一環として、月足さおり氏のピアノコンサートを町内小・中学校で開催。先天性の病気を持ちながら音楽活動が続ける月足氏の演奏や話を聞くことで、一つしかない尊い命の大切さや周りの人々への感謝の思い、音楽の素晴らしさを学ぶことを目的とする。
事業結果	令和5年9月29日(金) 須恵小学校 参加者70名。令和5年10月18日(水) 上小学校 参加者192名。令和5年12月15日(金) 岡原小学校 参加者123名。令和5年12月18日(月) 深田小学校 参加者78名。令和5年12月19日(火) あさぎり中学校 参加者463名。令和6年1月31日(水) 免田小学校 参加者314名。全6回。参加者合計1,240名
点検評価のポイント	人権尊重について、様々な機会を活用した教育と啓発
評価委員意見	・私も以前、演奏を聞く機会があり、片手で演奏されているとは思えない音色の美しさに感動した。月足さんの生き方を知ること、子供達の成長に繋がっていくと思う。 ・とても良い機会だったと思う。月足さんの演奏も素晴らしく、すべてにおいて前向きな姿勢に感動した。
評価	十分達成 概ね達成 やや不十分 不十分
評価コメント	町内小・中学校の児童・生徒に対し、町栄誉賞受賞の月足さんを知る機会を提供し、演奏やお話を聞くことで豊かな情操をはぐくみ、人権感覚を高めることができた。
今後の方針	継続 中止 再検討 その他 すべての住民が心豊かに暮らすために、お互いの人権を尊重し合い、差別のない人権共存社会の実現をめざし、人権教育・啓発活動を推進する。

点検・評価報告書

基本目標	(3) 文化芸術の振興
施策	イ 文化財の保存・活用（保存、文化財理解、郷土愛）
事業名	町所有文化財管理事業（狩所ベニタブ）
事業目的・概要	町所有の文化財について、史跡等は除草などの管理を行っている。 狩所ベニタブについては台風被害による折損部の除去、幹の空洞化や枝の繁茂により倒木の恐れがあることから枝の伐採を行った。
事業結果	県道錦湯前線に張り出した部分の剪定や、ベニタブに被圧していたケヤキの伐採等により、危険個所の除去及び保全を図ることができた。 伐採（剪定）業務委託費1,210,000円
点検評価のポイント	町保有の文化財に対する整備、保存及び保護
評価委員意見	・引き続き整備や保護に努めていただきたい。
評価	十分達成 ☒ 概ね達成 ☐ やや不十分 ☐ 不十分 ☐
評価コメント	名勝狩所のベニタブの台風被害による折損枝の処置や、育成に影響ある不要枝と隣接するケヤキを剪定する予定であったが、ケヤキは生長が早いため、剪定ではなく伐採に変更して支障要因を排除することとし、長期的な保全を図ることができた。
今後の方針	☒ 継続 ☐ 中止 ☐ 再検討 ☐ その他
	町内に数多く存在する貴重な文化財を後世へ引き継ぐため、整備や保護等に努める。

点検・評価報告書

基本目標	(1) 学校教育			
施策	ア 確かな学力の育成			
事業名	あさぎり中学校長寿命化改修事業			
事業目的・概要	あさぎり中学校の普通教室棟及び特別教室棟の長寿命化改修事業。令和４年度に基本設計、実施設計及び仮設校舎の設置を行い、令和５年度に本工事を行った。			
事業結果	あさぎり中学校長寿命化改修基本設計・実施設計業務委託：22,681,075円 あさぎり中学校石綿含有建材全棟調査業務委託：10,395,000円 あさぎり中学校普通教室・特別教室棟長寿命化改修工事：676,978,998円 あさぎり中学校普通教室・特別教室棟長寿命化改修工事監理業務委託：14,740,000円 あさぎり中学校仮設校舎設計業務委託：4,268,000円 あさぎり中学校仮設校舎設置工事（設置・賃貸借・撤去）：199,237,060円 あさぎり中学校技術室棟空調設置工事：8,030,000円 あさぎり中学校改修に係る学校備品購入：4,451,480円 令和3年度～令和5年度合計：940,781,613円			
点検評価のポイント	安全確保のための、老朽施設や設備等の計画的な更新			
評価委員意見	・木の雰囲気、明るい素敵な校舎に変化していて嬉しく思った。素晴らしい環境が学習面、精神面により影響を与え、学校生活が充実していくのだろうと感じた。 ・子供達が安心して過ごせるようになったと思う。いろんな設備も充実したと思う。			
評価	十分達成	概ね達成	やや不十分	不十分
評価コメント	普通教室棟及び特別教室等の長寿命化改修事業を実施したことにより、老朽化した施設の機能回復が図られ、生徒等が安全で安心して学習できる教育環境が確保できた。			
今後の方針	継続	中止	再検討	その他
	学校施設や設備等について、老朽化に対する安全性の確保と教育・学習環境改善のため、機能更新を計画的に進める。			

点検・評価報告書

基本目標	(1) 学校教育
施策	オ 学校・家庭・地域等との連携・協働の推進
事業名	子どもの移動経路交通安全プログラム
事業目的・概要	町内6小中学校の通学路の危険箇所を点検し、安全対策を行う事業。教育委員会、学校、PTAのほか、役場各課、多良木警察署、球磨地域振興局も参加し、ハードだけでなくソフト面での対応など、多角的に安全対策を行う。
事業結果	各校区の危険箇所視察を8月に実施。また、子どもの移動経路安全対策推進会議を11月に開催し、現地視察を行った危険箇所等の対応進捗状況を確認した。
点検評価のポイント	安心・安全な通学環境の確保
評価委員意見	・これからも、子ども達の安心、安全の為日々変化する環境の見守りをお願いしたい。 ・ソフト、ハード面と課題があるが、子供達の根本的な交通ルールの遵守が必要だと思う。(並列走行、一時不停止、スマホ運転等みられる。)
評価	十分達成 概ね達成 やや不十分 不十分
評価コメント	関係機関の協力と対応により、改善に繋がっている。ただ、早急な対応が困難な箇所もあり、今後も引き続き子どもの安全な通学環境の確保を進めていく。
今後の方針	継続 中止 再検討 その他
	「あさぎり町子どもの移動経路交通安全プログラム」を基に、関係機関が連携して、児童生徒が安心して通学できるよう安全確保を図る。

点検・評価報告書

基本目標	(1) 学校教育
施策	ア 確かな学力の育成
事業名	外国青年招致事業 (A L T)
事業目的・概要	JETプログラムにより外国青年 (ALT)を招致し、外国語教育の充実と地域の国際交流の推進を図る。あさぎり町では町内小・中学校のほか幼稚園・保育所等にも派遣している。また、一般町民等を対象とした英会話教室も実施している。
事業結果	授業等は、小学校317回、中学校105回、幼稚園・保育所等106回。 英会話教室は、初級・中級・上級を昼・夜に分けて開催し、67名が延べ34回に参加した。
点検評価のポイント	小・中学校の英語学習と連携を深めた英語教育の充実及び英語力の向上
評価委員意見	・これからもALTと交流していく中で、英語に興味を持ち、楽しく学び理解を深めてもらいたい。
評価	十分達成 ☒ 概ね達成 ☐ やや不十分 ☐ 不十分 ☐
評価コメント	3名のALTと1名の英語サポーターを配置し、小・中学校の授業補助はもとより、幼稚園・保育所等との交流や一般への英会話教室を実施することで、英語力の向上に寄与できた。
今後の方針	☒ 継続 ☐ 中止 ☐ 再検討 ☐ その他
	生きた英語の活用を通し外国語に慣れ親しむことで、英語教育の充実と国際理解教育の向上を図る。

点検・評価報告書

基本目標	(3) 文化芸術の振興
施策	イ 文化財の保存・活用（保存、文化財理解、郷土愛）
事業名	町所有文化財管理事業（丸池リュウキンカ）
事業目的・概要	免田地区丸池に自生するリュウキンカについて、ここ数年減少傾向にあったが、令和5年4月時点で8株にまで減少した。原因究明、今後の対応について県等に相談を行った。同時期に町内在住の一柳英隆氏の協力を得ることができ、調査員を任命し調査・保存対策を行っている。
事業結果	調査員による環境・植生調査や関係者へのヒアリング等を通し、必要な対応を検討することにより保全対策に取り組んだ。 年間管理業務委託料1,507,000円
点検評価のポイント	町保有の文化財に対する整備、保存及び保護
評価委員意見	・もう少し頑張ってください。 ・町花であるリュウキンカだが、認知度が低いと思う。ベニタブの項目でも思った。
評価	十分達成 概ね達成 やや不十分 不十分
評価コメント	数年で株が激減した要因の考査、対応の検討及び適切な管理により、引き続き保全に取り組むこととする。併せて、町民の意識と関心の向上にも繋げていく。
今後の方針	継続 中止 再検討 その他
	町内に数多く存在する貴重な文化財を後世へ引き継ぐため、整備や保護等に努める。

4 基本理念と基本目標

(1) 基本理念

夢や希望をもち

未来を切り拓く 人づくり

○ 本町は、「若者が活躍するまち 豊かなまち 幸せ感じるまち」の実現を目指しています。また、将来「様々な人たちが、様々なポジションで、様々な活躍をして、活気のある町」をイメージしてまちづくりに取り組んでいます。

○ 社会が安定期から変革期に移行する時代において、人口減少社会、少子・高齢化、多様な価値観の広がり、育児・家事・仕事のジェンダー平等、デジタル化、地球温暖化など、多くの課題が存在しています。

このような状況の中、これからの社会を見据え、願うことは、どのような社会状況においても、夢や希望をもち、自ら学び、自ら考え、主体的に判断・行動しながら、いきいきと躍動する町民の姿です。また、町民一人一人がお互いを尊重し、支え合い、高め合いながら共に生きる社会の姿です。そして、そのような町民を育て、社会をつくること、人づくりを担う教育の大切な役割と考えます。

○ 以上のようなことから、一人一人が自分の可能性を信じ、夢や希望をもって、自らの人生とあさぎり町の未来を切り拓いていってほしいという思いを込めて、教育振興基本計画の基本理念を「夢や希望をもち 未来を切り拓く 人づくり」と掲げ、さらなる本町教育の振興を図ります。

◇ SDG s と教育

○ 持続可能な開発目標（SDG s : Sustainable Development Goals）は、「誰ひとり取り残さない」を理念とし、実現に向けた17の目標を掲げています。このうち教育は目標4「質の高い教育をみんなに」に掲げられ、すべてのSDG sに関わる取組の基礎となるものです。

SDG sの理念や目標を実現していくためには、現代社会が直面する環境、貧困、人権、平和、開発といったグローバルな課題を自らの問題とし

て捉え、身近なところから取り組むことにより、課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出して行くことが求められます。



(2) 基本目標

ア 子どもたち一人一人の「生きる力」を育みます

学校教育においては、次代を担う子どもたちの自立と成長を保障するために、「生きる力」を一人一人に確実に身に付けさせることが求められています。学習指導要領では、「確かな学力」、「豊かな人間性」、「健康・体力」が、「生きる力」の3つの柱とされており、これらのバランスのとれた教育を進めることが重要です。一人一人の子どもに応じた、きめ細かな教育を推進し、子どもたち

の自己実現に向け、「生きる力」を育みます。

イ 学校・家庭・地域の連携を深め、地域社会全体の教育力を高めます

社会の変化に伴い、家庭や地域の在り方、その機能も変化しています。家庭や地域の自主性を尊重しつつ、子どもたちを中心にし、学校・家庭・地域・行政がそれぞれの役割と責任を自覚し、互いに連携しながら、地域社会全体で教育を推進することが求められています。地域の多くの大人が子どもへの教育について関心をもち、地域社会全体で五者連携による子どもを育む気運を高め、地域社会の教育力を高めます。

ウ 人生を豊かに生きるために、生涯にわたって楽しく学び続ける機会や場、活躍を支える仕組みを整えます

人生100年時代、Society5.0など、私たちの暮らしにとって大きな転換点を迎える中で、時代の変化に柔軟に対応し、豊かな人生を送ることができるよう、生涯学習の充実が求められています。町民が自ら生涯にわたって学習し、その成果を、日々の生活や働くこと、地域・社会の問題解決につなげていけるように、人と地域を育む生涯学習・スポーツ・文化活動の推進を図ります。

エ 伝統文化を尊重し、わが郷土に誇りをもつ態度を育てます

本町をはじめ人吉球磨地域は文化財の宝庫と言われています。郷土への理解と愛着を育む文化財を保存継承し、学校教育や社会教育に有効活用されるよう環境を整えるとともに、これまで継承されてきた伝統芸能など貴重な文化遺産を活用し、町民の郷土への愛着と誇りを育みます。

オ 豊かな心をもち生命や人権を尊重するあたたかい人を育みます

すべての人々が、人権尊重の理念を正しく理解するとともに、生命を大切にし、社会生活の基本的ルールや思いやりの心を身に付け、社会に貢献しようとする精神を育むことが求められています。人権教育及び心の教育を充実するとともに、権利と義務、自由と責任についての認識を深め、公共心を持ち自立した個人を育てる教育を推進します。